

豪雨災害に対して、河川工事をどうすすめるか。  
小泉川や桂川の豊かな自然とその魅力を見つめよう。

# 「川づくりと河川環境」



カヤネズミ

11月25日(土) 午後1時半～3時半  
長岡京市 中央公民館2階 学習室



近年気象が不安定になり、局地的なゲリラ豪雨や水害に対する危険が増しています。  
7月に起きた九州北部豪雨では記録的な大雨による河川の氾濫や土砂災害等によって多  
大なる被害が生じました。静かな流れで水の恵みを与えている川も、大雨と洪水で姿を大  
きく変えます。自然の脅威、治水工事の難しさをあらためて感じます。

河川工事は、治水や利水を目的として進んできましたが、平成9年の河川法の改正で、  
「河川環境の整備と保全」が目的に新たに盛り込まれ、河川工事では、災害対策だけでなく、  
自然を考えた川づくりがすすんでいます。

小泉川や小畑川を歩くと、生物が住みやすい木の護岸や、魚が通りやすい魚道など、多  
自然型工法が目につきます。また、住民が水と触れ合えるような、親水護岸もあります。  
このような河川工法の変化や現状、そして最近の頻発する豪雨災害について、行政の担当  
者の方に説明していただきます。川の魅力についても、多様な役割や生き物との共生など  
に触れながら、考えていきたいと思えます。ぜひご参加ください。

■日時 11月25日(土) 午後1時半～3時半

■会場 長岡京市 中央公民館2階 学習室

■お話 京都府乙訓土木事務所 河川砂防室

「河川整備の変遷と河川工事について」

淀川河川レンジャーアドバイザー 田子稔さん

「桂川の魅力～豊かな自然と環境」

■参加方法 直接会場へお越し下さい。定員30名

■問い合わせ先

淀川管内河川レンジャー事務局 上流域流域センター（淀川河川事務所 伏見出張所構内）

TEL:075-611-2246 FAX:075-611-2271（9時～17時、月曜日除く）

<主催> 淀川管内河川レンジャー 松方 隆

<支援> 国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所

<後援> 長岡京市 大山崎町

<協力> 乙訓の自然を守る会



カリガネソウ

川と人 人と人を結ぶ

